

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 京都市高野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間】 開所日：月曜日～金曜日（12月30日～1月3日休業） 開所時間：午前9時～午後5時 ただし、開所日開所時間以外は、時間外対応の職員をあらかじめ決め、その職員が業務用の電話に転送された相談に対応している。 【事業実施地域】 養徳学区、養正学区
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

・地域包括ケアシステムの実現を目指し地域ケア会議（ⅠⅡⅢ）を開催。地域課題の解決や関係機関の連携強化に努める。 ・広報活動として、認知症や高齢者虐待、権利擁護の啓発および具体的対応を行う。 ・高野圏域認知症ネットを圏域の専門職による多職種連携の基盤として、金融機関への認知症普及啓発活動を行うなど、医療、福祉関係以外に企業を巻き込んだ認知症支援を展開している。 ・一人暮らし高齢者の実態把握や、支援の必要な高齢者の把握、見守り活動の支援を地域福祉組織と連携して行う。 ・介護予防支援や総合事業の相談、ケアマネジメントを行う。圏域の居宅介護支援事業と事例検討会を定期開催し、介護予防マネジメントの質の向上を図る。事例検討会には精神科医師、障害者地域生活支援センターも顧問として継続参加いただく。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員2名、看護師1名、社会福祉士1名、介護支援専門員2名、事務職員1名を配置。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業へ優先して発注に努めている。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2,413 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

1,076 件

(3) 収支実績

ア 令和5年度収入状況（単位：円）

委託料	26,603,704
介護保険収入	12,054,530
その他	52,880
収入計	38,711,114

イ 令和5年度支出状況（単位：円）

人件費	31,143,848
事業費	2,042,964
委託費	1,240,303
小額修繕費	
その他	236,500
支出計	34,663,615

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

定期的なモニタリングでサービスにおける効果や満足度等を把握している。

(2) 利用者満足度把握の結果

相談には迅速に対応するようにしており、利用者から不満や苦情は受けていない。

(3) 意見等への主な対応状況

迅速かつ丁寧に相談業務を行うよう努めている。包括センターによる対応以外にも、必要に応じて他機関につなぎ対処している。

7 評価（指定管理者自己評価）

前年度に比べ、介護予防支援給付対象者数が147件増加。相談延件数は66件増。令和5年度上半期は職員1名欠員で指定介護予防支援等の担当件数の上限超過に係る委託料返還に該当するという心身ともに負担の大きい中、増加している相談対応（給付に繋がらないケースも多い）、定期モニタリングと虐待や支援困難ケースの継続対応の他、地域行事や会議も（コロナ5類となり件数が激増）職員一丸となり対応した。苦情等発生せず、また事故もなく乗り切れたことは高く評価したい。研修については母体法人と連携してセンター職員受講した。